

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況及び効果検証

No.	交付対象事業の名称	事業の目的	実 施 状 況				効 果 検 証			担当課	
			事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金 充当額 (円)	実 施 内 容	効果の検証方法	事業の効果（成果）		効果の検証結果（評価）
1	議会オンライン会議等 環境整備事業	オンライン会議参加者の映像を映す機材を導入することで会議の円滑化を図るとともに、議場内の映像を映す機材を導入することで新型コロナウイルス感染症対策に配慮した傍聴機会の提供を図る。	R4.8	R4.11	379,060	300,000	ノートパソコン 1台×257,000円=257,000円 プロジェクター 1台×35,000円=35,000円 スクリーン 2台×26,300円=52,600円 外税 34,460円 合計 379,060円	使用回数	導入後、新型コロナウイルス感染症が落ち着きを見せてきたことから、正式な委員会等での使用は無かったが、数名の議員に協力いただき、運用試験を実施した。 (※委員会等での使用:0回、運用試験での使用2回)	現在、新型コロナウイルス感染症を原因とするオンライン会議の実施機会は少なくなっているが、議会運営制度の改正により、感染症以外の事情、議員本人の出産や子育て、介護等の事情においてもオンラインによる会議参加が認められつつあることから、感染症はもちろんのこと、その他要因によるオンライン会議の実施に向けた環境を整えることができた。	議会事務局
2	本別・浦幌生活維持路線バス運行補助負担金事業	本別・浦幌生活維持路線バスの運行にあたり、乗車人数に応じてバスの大きさを変更し、3密を避けることで新型コロナウイルス感染拡大防止が図られ、バス利用者の安全が確保されることから、特定大型車とマイクロバスとの運行経費に係る差額費用の浦幌町負担分を負担する。	R4.4	R5.3	873,987	800,000	特定大型車運行からマイクロバス運行への拡大分 本別ハイヤー・毎日交通 2社合計 188回 1,521,774円 浦幌町負担分 873,987円 内訳:均等割~1,521,774円×0.85×1/2=646,754円 利用人数割~1,521,774円×0.15×8,360/8,398人 =227,233円	使用量・使用回数	特定大型車(5~7人乗り)運行からマイクロバス(28人乗り)運行に切り替えることにより、新型コロナウイルス感染防止対策に伴う3密を避けながら、コロナ前と変わらぬ運行回数で運用できた。	新型コロナウイルス感染防止対策に配慮した運行方法により、バス利用者にとって不便が生じない形で運用ができ、効果的であった。	まちづくり政策課
3	上浦幌ひまわり保育園空調設備設置事業	上浦幌ひまわり保育園の遊戯室に空気清浄機能付き空調設備を設置することで、新型コロナウイルス感染拡大防止が図られ、より良い保育環境で児童が安心して活動することができる。	R4.5	R4.6	710,600	600,000	空調設備購入費 2台×355,300円=710,600円	使用量・使用回数	毎日の園生活及び行事の際の父母ご来園の際、以前と比較しても、新型コロナウイルス感染拡大防止が図られ、より良い保育環境となった。	事業の目的に基づき、当該事業を実施した結果、遊戯室に空気清浄機能付き空調設備を設置することで、新型コロナウイルス感染拡大防止が図られ、より良い保育環境で児童が安心して活動することが可能となった。	こども子育て支援課
4	介護事業所等感染防止対策支援事業	重症化しやすい高齢者等に接する機会が多く、感染リスクが高い介護サービス事業所等への支援策として、感染予防対策に必要な消耗品及び備品の購入費用について、国が定めた「令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(介護分)」に準ずる基準額を上限として町独自に補助金を交付し、介護サービスの提供体制の継続を図り、町内の高齢者の生活基盤の維持を図る。	R4.4	R5.3	6,539,000	5,000,000	6法人(13事業所) A法人(3事業所) 1,057,000円 B法人(4事業所) 3,380,000円 C法人(3事業所) 998,000円 D法人(1事業所) 537,000円 E法人(1事業所) 33,000円 F法人(1事業所) 534,000円 合計6,539,000円 ※補助基準額(1事業所あたり) 通所介護事業所(通常規模型):892,000円 通所型サービスB事業所:537,000円 認知症対応型通所介護事業所:375,000円 短期入所生活介護事業所:44,000円×定員数 訪問介護事業所:534,000円 居宅介護支援事業所:148,000円 居宅療養管理指導事業所:33,000円 介護老人福祉施設:38,000円×定員数 認知症対応型共同生活介護事業所:36,000円×定員数 有料老人ホーム(定員29人以下):35,000円×定員数	実施事業者への聞き取り調査	介護サービス事業所等における、感染予防対策に必要な消耗品及び備品の購入に係る経費負担が軽減されたことにより、施設の利用者及び職員の感染予防、感染拡大防止の環境整備が促進される効果が確認できた。	事業の実施により、介護サービス事業所等での感染予防並びに感染拡大防止対策に資することができたことにより、施設等を利用する高齢者の生活基盤の維持が図られた。	保健福祉課
5	保健福祉センター空調設備整備事業	福祉避難所である保健福祉センターの新型コロナウイルス感染症対策として、施設の換気を行った際に室内温度が適正に維持できない夏季期間等の体調管理や熱中症対策として会議室等の空調設備を整備することにより、避難する町民の安全と安心を確保する。	R4.4	R5.1	9,680,000	8,000,000	空調設備設置工事費 12基 9,680,000円	利用状況の確認	福祉避難所である保健福祉センターの新型コロナウイルス感染症対策として、空調設備を整備した。 8室12基	避難所開設時における感染症対策に必要な空調環境が整備され、避難者及び避難所運営者の感染リスクを減少させることができたことにより、町民の安心と安全を確保できたと考える。	保健福祉課

No.	交付対象事業の名称	事業の目的	実施状況				効果検証			担当課	
			事業始期	事業終期	総事業費(円)	交付金充当額(円)	実施内容	効果の検証方法	事業の効果(成果)		効果の検証結果(評価)
6	常室ラボ施設空調設備設置事業	常室ラボ施設内ワークスペースの新型コロナウイルス感染症対策として、施設の換気を行った際に室内温度が適正に管理できない夏季期間等の体調管理や熱中症対策として空調設備を整備することにより、施設利用者の安全と安心を確保する。	R4.6	R4.7	516,560	400,000	空調設備購入費 1台×516,560円=516,560円	聞き取り	夏季期間等におけるワークスペースの温度の適正管理及び換気促進並びに密閉の解消が図られた。換気実施時に室内温度が適正に管理できない夏季期間のワークスペース使用時における空調設備使用率 100%	空調設備を改修することで施設温度の適正管理の実施及び感染症防止対策を強化が図られ、安心安全な環境を整えることができた。	産業課
7	農業団地センター空気清浄機導入事業	農業団地センター施設内の会議室に空気清浄機を導入することにより、清潔で安全な空気環境により新型コロナウイルス感染症防止対策が図られる。	R4.4	R4.4	154,000	154,000	空気清浄機購入費 1台×154,000円=154,000円	利用状況の確認	農業団地センターに新型コロナウイルス感染症対策として空気清浄機を導入し、会議室を使う際に稼働させることにより、室内の換気能力を向上させ、会議室使用者(職員含む)への感染予防が図られた。空気清浄機稼働状況: 適宜(会議室を複数人で使用する時)	当該空気清浄機の導入により、会議室使用者(職員含む)の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止が図られた。	上浦幌支所
8	森林林業普及啓発施設内空調設備設置事業	森林林業普及啓発施設内(うららパーク)の新型コロナウイルス感染症対策として、施設の換気を行った際に室内温度が適正に管理できない夏季期間等の体調管理や熱中症対策として空調設備を整備することにより、施設利用者の安全と安心を確保する。	R4.6	R4.7	578,160	400,000	空調設備購入費 1台×578,160円=578,160円	聞き取り	夏季期間等における森林林業普及啓発施設の温度の適正管理及び換気促進並びに密閉の解消が図られた。換気実施時に室内温度が適正に管理できない夏季期間の森林林業普及啓発施設使用時における空調設備使用率 100%	空調設備を改修することで施設温度の適正管理の実施及び感染症防止対策を強化が図られ、安心安全な環境を整えることができた。	産業課
9	第1弾プレミアム付商品券発行事業	コロナ禍において浦幌町商工会が地域経済活性化と商工業の振興を図るため、額面500円のプレミアム商品券(14枚綴7,000円相当)を5,000円で販売し、差額2,000円分を町が補助する。	R4.4	R4.11	22,665,429	20,000,000	プレミアム分補助金: 20,000,000円(額面500円×14枚綴×10,000セット=70,000,000円のうちプレミアム率40%分) 事務費補助金: 22,376,947円 封筒印刷代: 50,600円 郵便料: 237,882円 合計: 22,665,429円 利用率: 99.9%	実績数値	19,922,500円(プレミアム分) 町内全90店舗が参加し、商品券発行数の99.9%が使用された。	コロナ禍で落ち込んだ地域のにぎわいを取り戻し、商店街の活性化を促進することで、事業者の売上増加を図ることができた。	産業課
10	観光情報サイト・観光パンフレット制作事業	観光情報サイトの構築及び観光パンフレットを刷新し、情報発信を強化することでアフターコロナにおける観光客を誘引する。	R4.11	R5.3	4,460,500	3,000,000	観光情報サイト構築費用 2,205,500円 観光パンフレット制作費用(5,000部) 2,255,000円 合計 4,460,500円	実績数値	観光情報サイト制作 観光パンフレット制作 5,000部	町の魅力や観光情報を分かりやすく、かつ、閲覧者が惹きつけられるようなデザインで掲載するとともに、観光情報サイトと観光パンフレットに統一性を持たせることにより、観光イメージの向上と利便性の向上を図ることができた。	産業課

No.	交付対象事業の名称	事業の目的	実施状況				効果検証			担当課	
			事業始期	事業終期	総事業費(円)	交付金充当額(円)	実施内容	効果の検証方法	事業の効果(成果)		効果の検証結果(評価)
11	レストラン施設空調設備改修事業	「道の駅うらほろ」に隣接するレストラン施設の新型コロナウイルス感染症対策として、施設の換気を行った際に室内温度が適正に管理できない夏季期間等の体調管理や熱中症対策として空調設備を整備することにより、施設利用者の安全と安心を確保する。	R4.4	R4.8	3,960,000	3,960,000	空調設備設置工事費 3基 3,960,000円	聞き取り	夏季期間等におけるレストラン施設の温度の適正管理及び換気促進並びに密閉の解消が図られた。換気実施時に室内温度が適正に管理できない夏季期間のレストラン施設使用時における空調設備使用率 100%	空調設備を改修することで施設温度の適正管理の実施及び感染症防止対策を強化が図られ、安心安全な環境を整えることができた。	産業課
12	留真の里交流施設機械設備改修事業	留真温泉施設の新型コロナウイルス感染症対策として、ウォシュレット機能付きトイレ及び手洗い自動水栓化による給・排水設備及び衛生器具の改修、並びに密をさけるために換気を行った際の熱中症対策として空調設備を整備することにより、施設利用者の安全と安心を確保する。	R4.5	R4.8	3,630,000	3,630,000	機械設備改修工事費 3,630,000円	聞き取り	ウォシュレット機能付きトイレ及び手洗い自動水栓化により感染症対策の強化が図られた。また、空調設備を整備することにより夏季期間等における温泉施設の温度の適正管理及び換気促進並びに密閉の解消が図られた。換気実施時に室内温度が適正に管理できない夏季期間の温泉施設使用時における空調設備使用率 100%	衛生器具及び空調設備等の改修をすることで施設温度の適正管理の実施及び感染症防止対策を強化が図られ、安心安全な環境を整えることができた。	産業課
13	消防職員等感染症対策資機材購入事業	救急業務における感染防止衣等を整備することにより、消防職員等の感染防止対策の向上を図るとともに、各種会議及び救急講習会等において、受講者が安心して参加できるよう安全な距離を保つための放送設備及びパーテーション等の感染対策資機材を整備することにより、受講時の新型コロナウイルス感染防止対策の向上を図る。	R4.4	R4.7	721,270	653,000	感染防止衣上下 34着×2,090円=71,060円 感染防止用グローブ 13箱×1,650円=21,450円 パーテーション 28個×1,870円=52,360円 扇風機 5台×12,100円=60,500円 放送設備 一式 515,900円 合計 721,270円	使用実績	①感染防止衣上下、感染防止用グローブ 令和4年8月1日から令和5年3月31日までの救急業務124件で、救急隊員17名が使用した。 ②扇風機 浦幌消防署事務室・待機室、吉野消防会館、厚内分遣所、上浦幌分遣所 の計5ヶ所で、令和4年7月中旬から9月下旬まで、消防職・団員が使用した。 ③パーテーション、放送設備 令和4年7月22日から令和5年2月28日まで、7回の救命講習で使用した。	①救急業務にて感染防止衣等を着用したことにより、救急隊員の新型コロナウイルス感染を防ぐことができた。 ②扇風機を設置したことにより、室内の換気効果を高めたことで、消防職・団員の新型コロナウイルス感染やクラスターの発生を防ぐことができた。 ③救命講習にてパーテーションの設置及び放送設備を使用したことで、指導者と受講者間の距離を保つことができ、新型コロナウイルス感染を防ぐことができた。	消防署
14	図書館感染症対策事業	紫外線照射による図書除菌機を導入することで、図書館利用者の新型コロナウイルス感染防止対策の強化が図られ、安心・安全な図書資料を提供することができる。	R4.5	R4.6	1,133,000	1,133,000	図書除菌機 1台×1,133,000円=1,133,000円	利用状況の確認	・セルフサービス方式により、利用者が図書除菌機で、貸出資料を除菌した。 月の平均利用回数:22回 (一度に6冊除菌可能)	・図書除菌機の導入により、不特定多数が利用する図書館において、利用者が安心できる環境を整えることができ、利用者の安全意識、感染予防意識にもつながった。	教育委員会
15	公共施設手洗い自動水栓改修事業	コロナ禍において公共施設トイレ等の手洗い場を自動水栓化することにより、施設利用者の新型コロナウイルス感染防止対策の強化が図られる。	R4.7	R5.3	10,120,000	10,000,000	自動水洗化施設 16施設(82箇所) 10,120,000円 ・町立診療所 15箇所 2,246,000円 ・保健福祉センター 8箇所 1,143,000円 ・上浦幌公民館(介護予防拠点施設) 3箇所 487,000円 ・上浦幌ひまわり保育園 8箇所 491,000円 ・学童保育所 10箇所 682,000円 ・森林公園トイレ(町民球場入口 3箇所 286,000円) (みのり館横 1箇所 128,000円) ・教育文化センター 11箇所 2,350,000円 ・アイスアリーナ 3箇所 286,000円 ・総合スポーツセンター 1箇所 119,000円 ・スイミングプール 1箇所 153,000円 ・健康公園トイレ 5箇所 532,000円 ・町民球場 7箇所 574,000円 ・パークゴルフ場トイレ棟 2箇所 220,000円 ・農業団地センター 3箇所 304,000円 ・うらほろスタイル複合施設FUTABA) 1箇所 119,000円	利用状況の確認	水栓の自動化により器具等に手を触れず手洗いをする事ができ、共用機器への接触による、ウイルスの付着を防止することができた。また、施設利用時に手洗いの励行することで、利用者間の感染拡大や、感染者の発生を防止することができ、施設利用者間のクラスター発生は無かった。	水栓の自動化により器具等に手を触れず手洗いをする事ができ、共用機器への接触による、ウイルスの付着を防止することができた。また、施設利用時に手洗いの励行することで、利用者間の感染拡大や、感染者の発生を防止することができ、施設利用者間のクラスター発生は無かった。	総務課

No.	交付対象事業の名称	事業の目的	実施状況				効果検証			担当課	
			事業始期	事業終期	総事業費(円)	交付金充当額(円)	実施内容	効果の検証方法	事業の効果(成果)		効果の検証結果(評価)
16	コスミックホール照明機器等改修事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から指定緊急避難場所であるコスミックホール施設内の照明機器をLED化することにより、3密を避けるための換気対策時において害虫侵入を抑制し環境整備が図られるほか、災害時に施設内で発電機を利用した際の消費電力抑制に貢献する。また、男子トイレ小便器を非接触式センサーに交換することにより、新型コロナウイルス感染症対策が強化され、災害時の指定避難場所としての環境整備が図られる。	R4.6	R5.3	30,558,000	30,000,000	照明機器 一式 29,942,000円 男子トイレセンサー 一式 616,000円 合計 30,558,000円	聞き取り	男子トイレ小便器の非接触式センサーに交換することにより感染症対策の強化が図られた。また、施設をLED化することにより、災害時の指定避難場所としての環境整備が図られた。	トイレを非接触式センサーへ改修することで感染症防止対策を強化するほか、施設をLED化することで、安心安全な避難所環境を整えることができた。	産業課
17	浦幌町低所得の子育て世帯に対する子育て世帯臨時特別給付事業	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、国で支給する「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」及び北海道の「北海道子育て世帯臨時特別給付金」に上乗せする形で給付金を給付し、低所得の子育て世帯の負担軽減を目的とする。	R4.7	R5.3	2,453,167	2,400,000	児童一人当たり一律 40,000円 ひとり親世帯以外 27人×40,000=1,080,000円 ひとり親世帯 34人×40,000=1,360,000円 消耗品 3,603円 郵便料 1,974円 振込手数料 7,590円 合計 2,453,167円	実績値	食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し給付金を給付した。	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯の負担軽減につながった。	町民課
18	住民税非課税世帯生活支援給付事業	コロナ禍において原油価格や物価高騰に直面する住民税非課税世帯の負担軽減のため、令和4年度分の住民税均等割が非課税である世帯に対し、支援金を給付し負担軽減を図る。	R4.8	R5.3	25,419,174	19,658,000	673世帯 915人 給付額 1世帯当たり 30,000円 (2人以上の世帯は世帯員1人当たり20,000円を上乗せ) 673世帯×30,000円=20,190,000円 242人×20,000円=4,840,000円 封筒印刷代 11,000円 郵便料 89,864円 振込手数料 288,310円 合計 25,419,174円 ※ただし、北海道から市町村高齢者世帯等生活支援事業費補助金3,360,000円が町に対して交付される。(高齢者・障がい者世帯560世帯×1世帯当たり12,000円の1/2上限)	実績値	住民税非課税世帯に対し支援金を給付した。	コロナ禍において原油価格や物価高騰の高騰が続く中、低所得者世帯の経済的負担の軽減及び生活の安定につながった。	保健福祉課
19	高齢者等冬の臨時生活支援事業	コロナ禍において原油価格の高騰が続いており、高齢者や障がい者などの低所得者世帯を対象に、冬期間における生活費の一部を助成する緊急支援対策として、ハマナス商品券を支給することにより、経済的負担の軽減及び生活の安定を図る。	R4.9	R5.2	5,795,164	5,700,000	383世帯×15,000円(商品券)=5,745,000円 郵便料 50,164円 合計 5,795,164円	実績値	高齢者や障がい者などの低所得者世帯に対し商品券を支給した。	コロナ禍において原油価格の高騰が続く中、高齢者世帯等の冬期間における経済的負担の軽減及び生活の安定につながった。	保健福祉課
20	上浦幌ひまわり保育園感染防止対策事業	上浦幌ひまわり保育園の午睡室のフロアをカーペットからクッションフロアに敷替えすることにより、フロアに付着した新型コロナウイルスを素早く清掃(除菌)することができ、児童の新型コロナウイルス感染防止対策の強化が図られ、より衛生的な保育環境で安心して園生活を送ることができる。	R4.9	R4.10	308,000	308,000	午睡室床改修工事費 1フロア 308,000円	使用量・使用回数	毎日の後睡時において、以前と比較しても、より衛生的な保育環境となった。	事業の目的に基づき、当該事業を実施した結果、午睡室のフロアをクッションフロアに敷替えすることにより、フロアに付着した新型コロナウイルスを素早く清掃(除菌)することができ、児童の新型コロナウイルス感染防止対策の強化が図られ、より衛生的な保育環境で安心して園生活を送ることが可能となった。	こども子育て支援課

No.	交付対象事業の名称	事業の目的	実施状況				効果検証			担当課	
			事業始期	事業終期	総事業費(円)	交付金充当額(円)	実施内容	効果の検証方法	事業の効果(成果)		効果の検証結果(評価)
21	地域包括支援センター訪問体制整備事業	コロナ禍において外出自粛が続いたことにより高齢者の活動量が減少したことで、心身の活力が低下し生活機能が衰えた「フレイル」状態の高齢者が増えていると見られ、地域包括支援センターへの相談件数も増加していることから、福祉車両を1台増車することにより、地域包括支援センターの訪問体制の強化を図り、もって町内の高齢者の生活基盤の維持を図る。 (参考: 延べ相談件数 令和2年度「2,265件」⇒令和3年度「3,278件」、要支援・要介護認定数 令和2年度「188件」⇒令和3年度「259件」)	R4.8	R4.12	2,289,700	2,000,000	福祉車両 1台 × 2,289,700円 = 2,289,700円	利用状況の確認	福祉車両の購入し、1台増車となった。 (参考: 延べ相談件数 令和4年度「4,075件」 要支援・要介護認定数 令和4年度「346件」)	福祉車両の購入により、地域包括支援センターの訪問体制の強化が図られ、町内の高齢者の生活基盤の維持が図られた。	施設課
22	養護老人ホーム感染症対策整備事業	養護老人ホームの介護職員室において複数名の入所者の水分補給等を行う際に新型コロナウイルス感染症対策として、窓を開けて換気を行うが、室内温度が適正に維持できない夏季期間等の体調管理や熱中症対策として空調設備を整備することにより、入所者の感染防止と健康維持を図る。	R4.10	R4.12	979,000	970,000	空調設備設置工事費 1基 979,000円	利用状況の確認	7月から9月にかけ、気温が上昇したことにより、体調の観察のためお部屋にこもりがちな入所者を空調設備を整備した介護職員室内で、感染対策を行いながら水分補給、栄養補給、静養など介護職員が見守りながら介助を行った。	入所者の中には、高齢のためか暑さを感じづらくなっている方も見受けられる。施設内でエアコン使用により涼める場所は限られているなか、職員の方からも声をかけながら介護職員室において呼び出し、水分補給や体調観察等を行い、熱中症などで体調を悪くされる方の減少に効果をあげることができた。	保健福祉課
23	保健福祉センター等感染症対策整備事業	保健福祉センター及び養護老人ホームの感染症対策として、来所者用スリッパの衛生管理を可能とする衛生設備を整備することにより、新型コロナウイルス感染症対策の強化が図られ、来所する町民の安全と安心が確保される。	R4.10	R5.3	580,800	450,000	スリッパ殺菌ロッカー 保健福祉センター 1台 × 315,700円 = 315,700円 老人ホーム 1台 × 265,100円 = 265,100円 合計 580,800円	利用状況の確認	これまでは、毎朝清掃員の手作業により行っていたスリッパの殺菌作業を、スリッパ殺菌ロッカーを使用して効率的に行うことができた。 また、事業等で来所者が多い場合には、その都度職員がスリッパの殺菌を行うことができた。	来所者用スリッパの除菌を確実にを行うことにより、施設内における感染予防対策の強化が図られ、来所する町民の安全と安心が確保された。	保健福祉課
24	公民館等感染症対策整備事業	上浦幌公民館、吉野公民館、厚内公民館及び総合スポーツセンターの新型コロナウイルス感染症対策として、来館者用スリッパの衛生管理を可能とする衛生設備を整備することにより、来館する町民の安全と安心が確保される。	R4.9	R4.10	998,800	900,000	スリッパ殺菌ロッカー 3台 × 249,700円 = 749,100円 1台 × 249,700円 = 249,700円 合計 998,800円	利用状況の確認	スリッパは施設利用者が必ず使用するものであり、多くの方々が同じものを使用する。そのため、感染媒体となる可能性が高いことから、殺菌対応を行ったことは新型コロナウイルス対策として有効的であり、施設内感染の予防が図られた。	施設内感染の拡大によるクラスター化の予防に繋がった。また、紫外線を利用した殺菌では、消臭効果もあり、施設利用者が安心して快適に使用出来る環境を整備できたと考える。	教育委員会
25	町立診療所感染症対策整備事業	町立診療所の待合ホール、デイルーム及び診察室に空気清浄機を整備するとともに、入院病棟における衛生面も考慮し、面会者用病棟玄関にスリッパの衛生設備を整備することにより、安全で安心な診療診察環境の提供と新型コロナウイルス感染拡大防止の強化が図られる。	R4.8	R4.9	1,118,700	1,000,000	対象者: 病院施設利用者 対象施設: 町立診療所 (人数については不特定対数につき不明) 空気清浄機購入費 2台 × 293,700円 = 587,400円 2台 × 140,800円 = 281,600円 スリッパ殺菌ロッカー 1台 × 249,700円 = 249,700円 合計 1,118,700円	利用状況の確認	町立診療所の待合ホール、デイルーム及び診察室に空気清浄機を整備したことで、院内において感染の発生を抑えることが出来、また、入院病棟に設置した面会者用病棟玄関にスリッパの衛生設備を整備したことにより、安全で安心な診療診察環境の提供と新型コロナウイルス感染拡大防止の強化が図られた。 空気清浄機利用の頻度: 待合ホール 営業時間中毎日稼働 入院病棟 365日24時間稼働 スリッパ殺菌ロッカー: 入院患者面会者及び院内スリッパ使用後に使用 毎日使用済みスリッパを殺菌処理を行っている。	発熱外来を実施しているが、待合ホールに感染者が入ってしまう事例が数例あり、また、陰性ではあったが風邪症状の方の利用もある中、院内感染の事例はなく、空気清浄機の導入により安心安全な診療環境を確保することが出来たと考えている。 また、スリッパ殺菌ロッカーの活用については、毎日の利用数量は少ない場合もあるが、病棟における院内感染の発生が起きていないことから、効果があるものと考えており、さらに感染対策の強化を推奨する意識の強化につながっている。	町立診療所

No.	交付対象事業の名称	事業の目的	実施状況				効果検証			担当課	
			事業 始期	事業 終期	総事業費 (円)	交付金 充当額 (円)	実 施 内 容	効果の検証方法	事業の効果（成果）		効果の検証結果（評価）
26	スタンプラリー事業	新型コロナウイルス感染症及び物価高騰の影響を受けている中、浦幌町商工会が実施するスタンプラリー事業に要する経費に対し補助金を交付することにより、町内の幅広い事業者の消費喚起を促すことができるため、商工業の振興と地域経済の活性化が期待できる。	R4.10	R4.11	2,000,000	2,000,000	事業費補助金 1,800,000円 事務費補助金 200,000円 合計 2,000,000円 応募数：967通	実績数値	応募総数967通 スタンプ数4,835個 町内全83店舗が参加	コロナ禍や物価高騰の影響で落ち込んだ商店街への流入を増やし、町内の幅広い店舗を利用してもらうことで、消費者の購買意欲の促進及び事業者の売上増加を図ることができた。	産業課
27	第2弾プレミアム付商品券発行事業(国のR3年度予算分)	コロナ禍において浦幌町商工会が物価高騰の影響を受ける生活者と地域経済の活性化を図るため、額面500円のプレミアム商品券(14枚綴7,000円相当)を5,000円で販売し、差額2,000円分を町が補助する。	R4.9	R5.2	17,896,409	12,000,000	プレミアム分補助金：20,000,000円(額面500円×14枚綴×10,000セット=70,000,000円のうちプレミアム率40%分) 事務費補助金：2,366,749円 封筒印刷代：50,820円 郵便料：237,840円 合計：22,655,409円 ※ただし、北海道からプレミアム商品券発行支援事業費補助金5,000,000円が町に対して交付される。(販売総額70,000,000円ー町補助金20,000,000円)×10%=5,000,000円) 利用率：99.8%	実績数値	19,828,500円(プレミアム分) 町内全88店舗が参加し、商品券発行数の99.8%が使用された。	コロナ禍における物価高騰の影響で落ち込んだ地域のにぎわいを取り戻し、商店街の活性化を促進することで、事業者の売上増加を図ることができた。	産業課
28	第2弾プレミアム付商品券発行事業(国のR4年度予算分)	【No.27事業の国のR4予算分】 コロナ禍において浦幌町商工会が物価高騰の影響を受ける生活者と地域経済の活性化を図るため、額面500円のプレミアム商品券(14枚綴7,000円相当)を5,000円で販売し、差額2,000円分を町が補助する。	R4.9	R5.2	4,759,000	4,759,000	22,905,000円のうちR4年度予備費分として8,001,000円	実績数値	19,828,500円(プレミアム分) 町内全88店舗が参加し、商品券発行数の99.8%が使用された。	コロナ禍における物価高騰の影響で落ち込んだ地域のにぎわいを取り戻し、商店街の活性化を促進することで、事業者の売上増加を図ることができた。	産業課
29	水道基本料金免除事業	コロナ禍における原油価格、物価高騰対策として、町水道利用者を対象に水道料金の基本料金を6ヵ月分免除することで、経済的負担の軽減及び生活の安定が図られる。	R4.10	R5.3	30,384,255	30,000,000	水道料金の基本料金免除(※公的施設を除く。) 家庭用 2,037円×9,338件=19,021,506円 営業用 4,868円×727件=3,539,036円 団体A用 4,868円×203件=988,204円 団体A用(半月) 2,434円×1件=2,434円 団体B用 7,741円×93件=719,913円 工業用 22,611円×24件=542,664円 浴場営業用 12,030円×6件=72,180円 親費用・臨時用 3,423円×6件=20,538円 営農用 3,300円×1,176件=3,880,800円 家庭用(減免) 1,630円×874件=1,424,620円 団体用(福) 15,484円×6件=92,904円 地域会館 3,056円(6ヵ月分)×26件=79,456円 合計 12,486件 30,384,255円	実測	コロナ禍による深刻な物価高騰で厳しい経済状況にある中、経済的負担の軽減を図るため、令和4年10月請求分から令和5年3月請求分までの水道料金の基本料金を免除した。 10月請求分 のべ2,134件 5,243,675円 11月請求分 のべ2,125件 5,208,593円 12月請求分 のべ2,094件 5,102,639円 1月請求分 のべ2,052件 4,950,527円 2月請求分 のべ2,027件 4,899,071円 3月請求分 のべ2,054件 4,979,750円	給付金を支給することで、物価高騰の影響を受けた事業者及び世帯の経済的負担軽減を図ることができた。	施設課
30	生活支援給付事業	コロナ禍における原油価格、物価高騰対策として、町水道に接続していない世帯等を対象に水道料金の基本料金6ヵ月分相当分の給付金を支給することで、経済的負担の軽減及び生活の安定が図られる。	R5.1	R5.3	1,234,422	1,000,000	水道利用組合、自家水利用世帯 101件×2,037円×6月=1,234,422円	給付状況の確認	コロナ禍による深刻な物価高騰で厳しい経済状況にある中、経済的負担の軽減を図るため、水道利用組合や自家水利用等により町水道を使用していない世帯に対し、水道料金免除事業において受けられるはずであった2,037円×3月=12,222円分の支援が受け取れるよう生活支援給付事業を実施。水道利用組合及び自家水利用等の世帯119件のうち101件の申請があり、給付した。(給付率84.87%)	給付金を支給することで、物価高騰の影響を受けた世帯の経済的負担軽減を図ることができた。	施設課
合 計					192,896,157	171,175,000					